

令和6年5年吉日

古河薬剤師会・茨城県介護支援専門員協会古河地区会 合同研修会のご案内

日 時：令和6年6月13日（木） 18：30～20：05

会 場：古河市総和福祉センター「健康の駅」2階視聴覚室 古河市駒羽根1501

参加費：無 料

主 催：古河薬剤師会・茨城県介護支援専門員協会古河地区会

再始動：ケアマネと薬剤師の連携事業【古河モデル】

総合司会：古河薬剤師会 副会長 宇田和夫

18:30～18:35

挨拶 茨城県介護支援専門員協会古河地区会 会長 赤荻 榮一

18:35～18:55

『新服薬気づきシートを使用した新たな古河モデル事業について』（仮）

古河薬剤師会 副会長 地域連携事業委員会 宇田 和夫

18:55～19:15

『介護支援専門員から見た薬剤師との連携の有用性』（仮）

茨城県介護支援専門員協会古河地区会 副会長 木村 貴政

（ウエルシア介護サービス古河）

19:15～20:00

グループディスカッション

「事例についてこれからの古河モデルの進め方について考える」

茨城県介護支援専門員協会古河地区会 副会長 渡邊 久江

20:00～20:05

挨拶 古河薬剤師会 副会長 田村 美帆

【合同研修会の主旨】

2024年の医療・介護・障害の報酬のトリプル改定は、制度を超えて職種間の連携を評価する画期的な改定となりました。外来から在宅へスムーズに移行するために、薬剤師が外来患者に関する情報を介護支援専門員へ情報を提供した場合の調剤報酬上の新たな評価もその一つです。

ケアマネが服薬スクリーニングをおこない、それを受けた薬剤師が専門的立場から服薬アセスメントをして問題解決するケアマネと薬剤師の連携事業『古河モデル』は、在宅へ移行後の適切な服薬管理を両者で連携して行うものです。その連携手法の有用性は研究として行った事業で証明されました。この有用な連携をいかに継続したものに行えるか、今度はその課題に取り組みます。

ケアマネが使用する服薬アセスメントシート(服薬管理気づきシート)をリニューアルしました。事業の実施エリアも、古河市、境町、五霞町まで広げ実施いたします。コロナ後はじめてとなる合同の研修会にどうぞお誘いあわせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

- ※ 参加申し込み締め切りは6月9日(日)20時になります。
- ※ 会場参加は、古河市、境町、五霞町限定となります。
- ※ 日本薬剤師研修センター認定1単位を予定しております。

【参加申し込み方法】

右二次元バーコードより、グーグルフォームで回答をお願いします。



問い合わせ先：古河薬剤師会研修会担当 田村 0280-98-1717 (共創未来総和薬局)